

秋の味覚を目で、鼻で、そして口で味わいました

いつものお昼ご飯もみんなで作って楽しめば素敵なイベントです。

「秋」というと食欲の秋しか頭に思い浮かばないのは私ばかりではないでしょうか？

倶楽部千代田會館ではほぼ毎月、行事食といういつもの昼ご飯とはちよつと違うごちそう、それもなるべく旬のもので季節感をご利用者様にとっていただくお食事をご提供しています。なるべくご利用者様にもご自分の手を使ってご参加いただき、調理することそのものも一つのアクティビティとしてイベント化しています。十一月のメニューは、焼きサンマ、豚汁、それに栗ごはんでした。

サンマは庶民の秋の味覚の王様です。私たちのDNAに刻まれているんでしょうか？



「いいさんまだろ？ あたしが海でとってきたんだよ」
などと、嘘のひとつもついてしまいたくなる新鮮さです。

「今日のおかずはサンマ」と聞くと自然に顔がほころびます。普段のメニューでもサンマはありますが、高齢者向けに骨抜き加工された、なんだか味気ないものです。今日はお魚屋さんで買ってきた新鮮なさんまを一本丸ごと召し上がっていただきます。食堂の真ん中に置いたホットプレートで焼いたので真っ白

な煙が食堂中に充満し、火災報知器大丈夫かなと心配になりましたが、おいしそうな匂いが部屋中に立ち込めます。いつもはあまり調理に参加されないご利用者様も今日は大根おろしを作っていたり、楽しくご参加いただきました。お味は？ そんなのおいしいに決まってるじゃないですか！



これまで何度も自慢していますが、倶楽部千代田會館のご飯はおいしいと評判なのです。

3年半にわたり、この千代田だよりの編集を担当しておりました伊藤は、一身上の都合により当倶楽部千代田會館を退職することとなりました。今号をもちまして担当者が交代し、次号からは新人の山本美智子職員に担当をバトンタッチいたします。今まで千代田だよりをご愛顧いただきありがとうございました。次号から新たに再出発する千代田だよりも引き続きご期待ください。



菊花展を見に行きました

ある秋の日の日曜日、菊花展を見に大宮八幡宮へドライブに行ってきました。境内は丁度七五三と重なって、多くの家族連れでぎわっていました。可愛く着飾った子供たちにご利用者様も目じりを下げておられました。

まずは本殿にお参りしました。みんなで自分自身とお互いの健康をお願いしました。一人だけご利用者様そっちのので「ケアマネ試験受かっていますように」と、本気をお願いをしていたスタッフもいました。

菊花展のコーナーでは、数々の菊の花たちが美しさを競っていました。一口に菊と言っても品種改良されていぶんいろいろな形の菊があるものです。毎年みなさんのコンテストに出品されているでしょう。ご自慢の菊を存分に目で楽しんでください。

もっとも私は「菊」というとつい春菊を連想して、鍋物が恋しくなるんですが……。



ご利用を検討されている皆さま

お気軽に下記電話番号までご相談ください。
ご本人さまやご家族さまの見学を随時受け付けております。



東京メトロ丸の内線方南支線
中野新橋駅から徒歩1分
木造京町屋風の建物です



倶楽部千代田會館とケアネットのホームページ
<http://www.yayoi-home.com/takinou.php>

集めています

ケアネットでは、引き続き地域貢献活動の一環として、「ペットボトルキャップ回収」を行っております。集まったキャップはワクチン等に交換され途上国の医療等に役立てることが出来ます。地域でご協力いただける方がいらっしゃいましたらお気軽に倶楽部千代田會館までお持ちください。またご家族のかたは送迎のドライバーまたはケアマネにお渡しいただければお預かりします。

小規模多機能ホームとは、地域の高齢者の方がいつまでも顔なじみの地元で、住み慣れた家でお過ごしいただくための様々なサービスをご提供する、高齢者のための施設です。